opusdei.org

年間第4週・火曜日 29. 霊的聖体拝領

年間第4週・火曜日 29. 霊的 聖体拝領 一病気の婦人の信仰:「主の衣に触れて癒されて癒されて動力をはごと体にが た」。私たちはご聖体にもいてキリストと出会う。一部といるではでいる。 もずることを望む。一部は はずることを望む。一部は はずることを望む。 を拝領する。その準備と感謝。

2024/04/03

年間第4週・火曜日

29. 霊的聖体拝領

- 一 病気の婦人の信仰: 「主の衣に触れて癒された」。私たちはご聖体においてキリストと出会う。
- 一霊的聖体拝領。キリストをお受けすることを望む。
- 聖体を拝領する。その準備と感 謝。
- 29. 1 病気の婦人の信仰、衣に触れさえすれば治る、キリストとの出会いは聖体にある

主よ、わたしの祈りを聞き入れてください。この叫びがあなたに届きますように。苦難がわたしを襲う日にみ顔を隠すことなく御耳を向け、あなたを呼ぶとき急いで答えてください¹。

今日のミサの福音²は、湖の向こう 岸、カファルナウムに再度お戻りに なったときになさった奇跡について語っています。聖ルカは群衆がイエスを待ち受けていたと伝えています。群衆はイエスが再び自分たちと一緒にいることで幸福でした。イエスはすぐ町に出かけて行かれました。その後を、弟子たちとまわりを取り囲んでいた群衆はついて行きました。

押し寄せる人々の間で、婦人が少し ためらいながら近づいて来て、イエ スを引き止めました。衣に触れれば 治るだろう。その婦人は12年間も病 気で苦しみ、財産を使い果たしまし た。多くの医者のもとに通い、苦し み、持っている物すべてを費やしま した。婦人は、イエスが治してくれ る唯一の人で、病気から癒されるだ けでなく、生活のすべてを治すこと ができるに違いないと気づきまし た。婦人は腕を伸ばし、何とかして キリストの外套の縁に触れようとし ました。その時、すぐ主は立ち止ま

られました。彼女は自分が治ったことに直感的に気がつきました。

「誰が衣に触れたのか?」イエスは 周りの群衆に話しかけながら尋ねま した。「わたしから力が出て行った のを感じたのだ」 ⁴。婦人は人の心 を深くまで見抜く目が自分の上に注 がれるのがわかりました。そして、 すぐに畏れ慄きながらも、喜びに満 たされてイエスの前にひれ伏しまし た。

私たちもまた、毎日、キリストに触れる必要があります。私たちかと欠点をからさん持ってイエとがあります。それでこのイエとがでいるのをでいがいるのものでででは、といが出てがらいるのものがある。からないないでででででででででででででででででででででできます。私たちを見ないできます。私たちを見ないできます。私たちを見ないできます。私たちを見ないできます。私たちを見ないできます。私たちを見ないできます。私たちを見ないできます。私たちを見ないできます。私たちを見ないできます。

びで満たす、溢れんばかりの恩恵を 受けます。そのお陰で、私たちに必 要な強固な意志を持ち続けることが できるのは、まさしく天使さえ驚く ほどです。

キリストに近づけば、私たちは言葉 では言い表すことのできない神秘に 直面していることに気がつきます。 しかも、どれほどキリストを熱心に 拝領したとしても、イエス・キリス トに相応しい拝領の仕方は、私たち にはできません。聖体拝領は、この 世の生命を超えて続く、言葉では言 い表せないほどの恵みを霊魂が受け とる、目に見えない泉です。イエス は私たちを窮乏から救われるために 来られるのです。イエスは助けを求 める私たちの叫びにすぐに応えてく ださいます。

キリストとの友情が育っていくにつれて、キリストに親密に一致するために、聖体拝領の瞬間が訪れるのを

心から待ち望むようになります。こ の病気の婦人と同じ熱心さをもっ て…人間的、また、超自然的な方 法、たとえば、守護の天使に向か う、など自由自在にあらゆる手段を 使い、主を探し求めます。時とし て、旅行や試験、仕事、その他の理 由でイエスをお受けすることが難し いなら、より一層の努力と工夫を凝 らし、愛をもって主を求めるべきで す。そうすれば、マグダラのマリア が3日目の夜明けに、墓を守ってい る兵士を恐れることなく、また、行 く手には大きな石があることを気に せずに墓に行った時と同じ決意を もって、私たちもイエスを捜すで しょう。

シエナの聖カタリナは聖体拝領を受けたいという望みがいかに大切かを説明するために、一つのたとえを使っています。カタリナは言います。それぞれが違う重さと大きさのろうそくを持っている何人かの人々

を想像しましょう。1番目の人は1オ ンスのろうそくをかかえ、2番目の 人は2オンス、3番目の人は3オン ス、さらに次の人は1ポンド(16オ ンス)のろうそくを持っています。 それぞれが自分のろうそくに明かり をつけます。1オンスのろうそくを 持つ人は1ポンドのろうそくを持つ 人よりも光を伝える能力が少ないと 思われています。同じようなことが 聖体拝領を受けに行く人々にも起き ます。それぞれがろうそく、つまり 聖なる望みを多かれ少なかれ持って この秘跡を受けに行きます⁵。 この 聖なる望みがどの程度あるかにかか わらず、それは熱烈な聖体拝領のた めの必要条件です。その熱意は、第 一に、わかりながら犯す小罪と、神 への愛に意識的に欠くことをひどく 嫌うという決意に現れます。

29. 2 霊的聖体拝領、キリストを 受ける望み ご聖体の秘跡を実りがあるように受けるためのすべての条件を一つに集約することができます。つまり聖なるご聖体に対する熱望・飢えです。。 キリストへの飢えと渇きにとって代わることができるものはありません。

聖体を拝領したいという熱烈な望み は、信仰と愛の確かなしるしです が、これがあれば多くの霊的聖体拝 領の祈りを唱えるようになるでしょ う。また、イエスを秘跡でお受けす る前や、その後、外出中であろうが 仕事に従事していようが、一日中 ずっと霊的聖体拝領を唱えることが できます。「霊的聖体拝領はご聖体 におられるイエスを受けたいという 強い望みと、すでにイエスを受けて いるかのような愛のこもった抱擁だ と言えます \int_{0}^{1} 。この前の聖体拝領 の実りを持続させ、次の聖体拝領の 準備になり、主が私たちに頼んでお られるように細やかな心と愛をもっ

て準備しなかったときの償いをする ことは役に立ちます。また、大罪が あるのにご聖体を受ける人々や、何 らかの理由で聖なる秘跡におられる キリストを思い出さなかったり、忘 れてしまったりしている人々のため に償いをするのに役に立ちます。

霊的聖体拝領は誰にも気づかれず、 急ぐことなく、いつでもすることが できます。それは愛の行為です。私 たちは十分に心を込めて言います。 「イエスよ、あなたが至聖なる秘跡 のうちにおられることを私は信じま す。あなたを愛しています、あなた を是非お受けしたいのです、あなた が私の心に来られますように。あな たを抱擁することを強く望みます。 私を見捨てないでください|°。ま た、多くのキリスト者が心の中に初 めてイエスを受ける準備をしたとき に学んだ、他の霊的聖体拝領を唱え ることができます。「主よ、あなた の尊いみ母があなたをお受けになっ

たときの、清さと謙遜と信心をもって、また、聖人たちの心と熱意を もって、私もあなたをいただくこと を望みます」⁹。

特に、聖なるミサの前と聖体拝領前の時間や、夜寝るとき、朝目を覚ますとき、また、その日の支度を始めまうとするときは、霊的聖体拝領が新力して守護の天使に助けを引きるです。この主要体は私たちの全存では、ご聖体は私たちの全存をがらば、ご聖体は私たちの全存のにあるが向かう中心となるでしょう10。

今日、守護の天使に向かい、私たちが住む、あるいはたまたま通り過ぎようとしている市や町の聖櫃におられるキリストが、私たちのすぐ傍におられることを頻繁に思い出すようにお願いしましょう。溢れんばかりの恩恵を獲得し、イエスをお受けしたいという望みが日毎に増すよう、

また、特別にキリストが私たちの心 に秘跡として残られる間、私たちの 愛がもっと大きくなるよう、守護の 天使に助けをお願いしましましょ う。

29.3 聖体の秘跡、準備と感謝

私たちもガリラヤの婦人のような信 仰で、キリストに近づく努力をしな ければなりません。私たちを取り巻 く悪霊から解放されるために、彼女 と同じくらいの大きな望みと謙遜を 持つ努力をするのです。「キリスト のこんなにも近くにいることができ る私たちは、そもそも何者なので しょうか。群衆の中のあの女性に対 するように、主は、私たちにも機会 を与えてくださいました。それも、 衣服とか、上衣の裾ではなく、ご自 分を所有させてくださったのです。 キリストは御体と御血、ご霊魂、神 性ともども、御自らを食物としてお 与えになる、そのお陰で私たちは、

父親に対するように安心して、また、愛する人と話すように親しく、 主と語り合うことができます」¹¹。

聖体拝領は徳への報いではなく、むしろ、弱く、手助けを必要としている人々のために準備された食べ物です。母なる教会は、頻繁にできれば毎日、ご聖体を受けることを勧めています。同時に拝領するときに、慣れに陥って熱意に欠けたり、愛に欠

けたりすることを避けるよう努力す ることを強く勧めています。教会 は、悔い改めて頻繁にゆるしの秘跡 に与ることで、霊魂を小罪からも清 めるように私たちを励ましていま す。とりわけ、教会は、もし大罪の 汚れで傷を負っているなら、まず悔 い改めの秘跡を受けに行かなけれ ば、ご聖体を受けるべきではないと 教えていま τ^{12} 。 小罪については、 主は悔い改めやそれを避けたいとい う望みを持つことで、できる限りの ことをするように私たちに頼んでお られます。信仰と希望と愛の行為の 実践に相応しい霊魂を準備するのと 同じように、身体も相応しく準備す ることが必要です。ですから、拝領 前1時間は何の食事もとるべきでは ありません。また、相応しい崇敬を もって与り、服装をきちんと整える べきです。これは、キリスト者とし て最も尊敬を示すべき御方に対して 当然とるべき態度でしょうし、その 御方が招いてくださる宴会が何であ

るかを理解している人が持つ信仰の表れでもあります。外部に表れる態度は、会う人に、私たちが貴いもののために備えているという鮮明な印象を与えなければなりません13。

ご聖体におられるイエスに対する イエスに対する を受は、聖体拝領後の感謝ので を表れます。愛は独創に富んで富んで ます。ではないます。 でするはないますがです。 を説し、おいますがです。 を対し、のような時にでするようなは、いたちはとめるようなは、いますのようなはにある まするは、いますがでなもし、いますがでないます。 はないますがでないますがでないます。 はないますがでないますがでないます。 はないますがでないます。

気が散っても、神が私たちのところに来られたという何物にも比べることのできない喜びに対して、神に感謝するなどして、さらに信心深くなるために役立たせるべきです。この

ように神ご自身が私たちの内におられる時、私たちが多くの限界を持っているにもかかわらず、可能な限り 最良の状態の霊魂になるよう、すべてのものが役立つのです。

聖母は天使のお告げがあった時、自らがお示しになった清さと謙遜と信心を私たちの霊魂も持つことができるようにしてくださいます。

¹ 詩編 102・2-3

²マルコ 5・21-43

³ ルカ 8・41-56 参照

⁴ ルカ 8・46 参照

⁵ シエナの聖カタリナ,Dialog

⁶ Garrigou – Lagrange, The Three Ages of the Interior Life, vol. 1 参 照

- ⁷聖アルフォンソ リゴーリ, Visits to the Blessed Sacrament
- [®] 聖アルフォンソ リゴーリ, Visits to the Blessed Sacrament
- ⁹ A. Vazquez. De Prada, The Founder of Opus Dei 参照
- 10 第二バチカン公会議 教会の宣教 活動に関する教令 9
- ¹¹ 聖ホセマリア・エスクリバー 『神の朋友』 199
- 12 ーコリント11・27-28;パウロ6世, Eucharisticum Mysterium, 37 参照
- ¹³ 聖ヨハネ・ビアンネ, (The Cure d'Ars),Sermon on Holy Communion

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-IV-ka/ (2025/11/23)